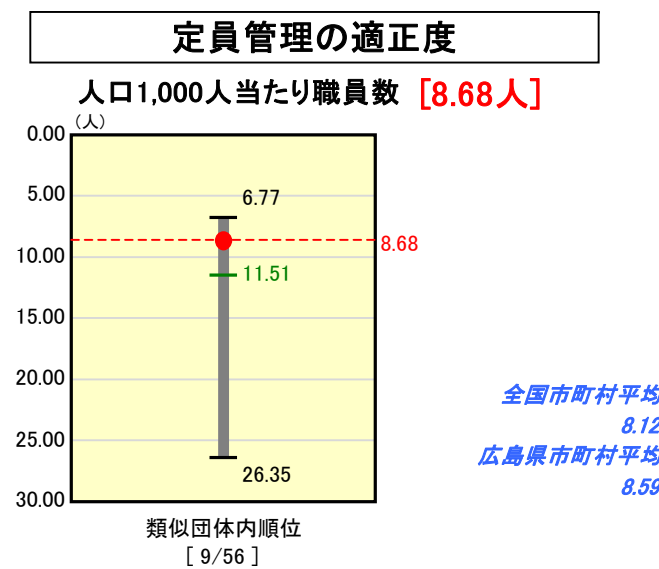
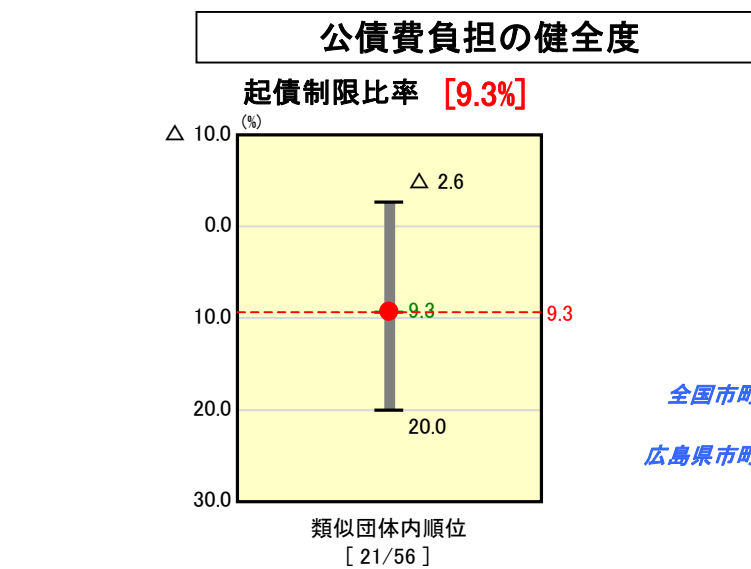
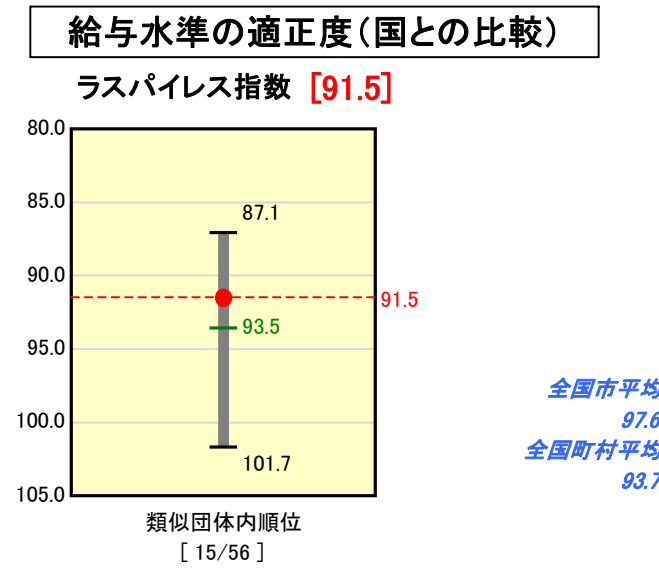
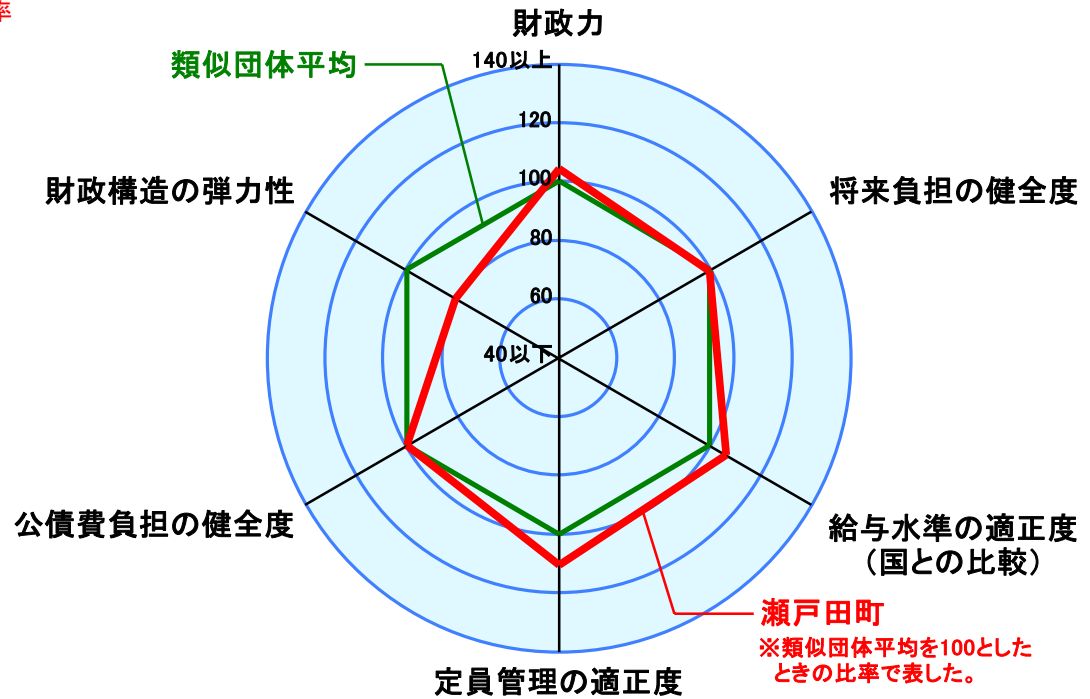
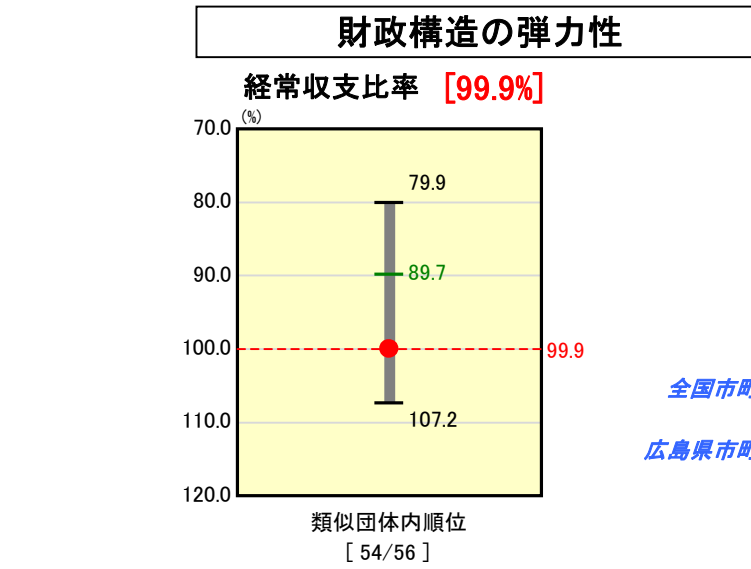
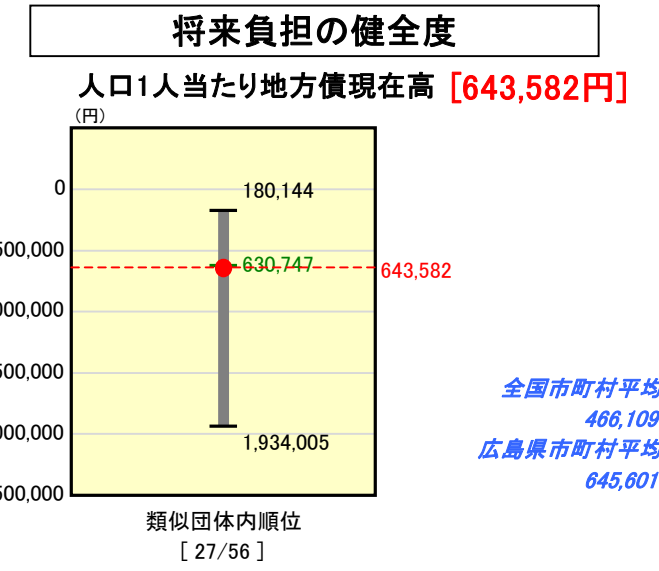
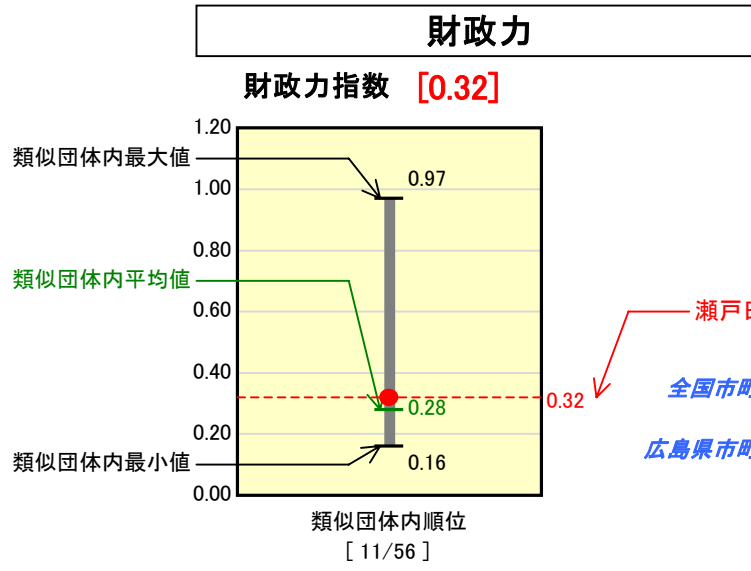


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 瀬戸田町

人口	9,442 人(H17.3.31現在)
面積	32.76 km ²
歳入総額	4,215,301 千円
歳出総額	4,104,354 千円
実質収支	100,028 千円



分析欄

【財政力指数】
・平成12年度より0.32で推移している。類似団体平均を若干上回っているものの、人口の減少、高齢化が進展しており、産業構造も、柑橘農業、造船、観光と各産業で単一化しているため、景気動向等社会変化の影響を受けやすい。

【経常収支比率】
・大型投資により公債費、施設管理経費等が急激に増加したため、平成13年度に92.1%となり、以後年々悪化しており平成16年度は99.9%と厳しい状況である。平成14年度以降、退職者不補充、各種手当等の見直し、補助金の廃止削減など、経常経費の削減を図ったが、地方交付税、臨時財政対策債など経常一般財源の歳入減が歳出削減を上回っている。現在、地方債の発行を抑制しており、公債費は減少するが、扶助費、医療等の繰出金などの増加要因もあり、今後も厳しい状況が続く。

【起債制限比率】
・農業公園、美術館、学校建設など大型投資を短期間に行った結果、平成10年度に15.9%となったが、公債費負担適正化計画により地方債の発行の抑制や繰上償還などを行い、平成15年度は8.4%まで減少した。平成16年度は9.3%となっている。平成17年度以降、公債費は減少に転じるが、償還繰り延べなどの影響もあり、数年間は上昇する。

【人口1人当たり地方債残高】
・類似団体平均とほぼ同水準である。地方債の発行を抑制しているため、今後、地方債残高は減少していく。

【ラスパイレス指数】
・平成17年指数は、91.5であり、特別昇給を行っていないため、広島県下でも最低水準にある。今後も特別昇給を行うことなく、人件費の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・新規採用を抑制しており、類似団体平均を下回っている。今後の定員管理も、定年退職等による自然減に対し、組織構成及び事務事業の見直し等を行いながら、適正な人員配置をすることで、新規採用による補充を抑制していく。